

レカロシート取付説明書

BM2018-1907003

メーカー	車種	年式	型式	部品番号	RECARO Variable Connector 設定	
					S1	R1(Ω)
BMW	Z4 (G29) (助手席と 手動シートの運転席)	2019/3～	HF20	2014.007.1 2014.007.2	B	970
	Z4 (G29) (電動シートの運転席)			2014.012.1 2014.012.2	-	-
TOYOTA	SUPRA (助手席と 手動シートの運転席)	2019/5～	DB22,42,82	2014.007.1 2014.007.2	-	-
	SUPRA (電動シートの運転席)			2014.012.1 2014.012.2	-	-

RECARO Variable Connector 設定欄に記載がある車種は、助手席に対して上記対象の値を設定してください

品質向上などのため、予告なしに一部の仕様を変更する場合があります。

レカロ株式会社

〒527-0066 滋賀県東近江市柴原南町 1570-1

レカロコール ☎ 0800-919-5881 受付時間 10:00 - 12:00 13:00 - 18:00

営業日 土日、祝日、弊社休業日を除く平日 ※IP 電話以外よりお掛けください。

<http://www.recaro-automotive.com>

※レカロ純正ベースフレームのマッチング情報はクラブレカロのホームページよりご覧ください。

<http://www.club.recaro-automotive.jp>

INSTALLATION MANUAL BM2018-1907003



構成部品

ベースフレーム構成部品	数量	備考	
① ベースフレーム本体	2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1	
② スライドレバー	1	ベースフレーム本体に取り付け	
③ キャップボルト	M8 x 20mm	4	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用 ※使用するボルトは、取り付けシートや使用スペーサー枚数によって異なります。
④ キャップボルト	M8 x 28mm	4	
⑤ キャップボルト	M8 x 40mm	4	
⑥ キャップボルト	M6 x 30mm	6	
⑦ ロックワッシャー	M8	4	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑧ 六角ボルト	M10 x 30mm	2	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑨ 皿バネワッシャー	M10	2	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑩ 平ワッシャー	外径32mm	7	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑪ スプリングワッシャー	M6	6	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑫ スペーサー	6mm	6	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑬ スペーサー	7mm	8	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用

シートベルトバックルアンカー取り付け用部品	数量	備考	
⑭ 六角ボルト	M8 x 20mm	1	シートベルトアンカーの取り付けに使用
⑮ 皿バネワッシャー	M8	1	
⑯ ナット	M8	1	

その他の構成部品	数量	備考	
⑰ エッジプロテクター	210 x 150	1	ベースフレームエッジ部分の保護に使用
⑱ エアバッグキャンセラー		1	エアバッグ消灯作業に使用(赤色カバー x 2含む)
⑳ VC FOR CAN		1	純正シート取り外しによるエラーの発生防止に使用 ※2014.012.1, 2014.012.2 のみ付属

はじめに

ご使用になる前に必ずお読みください

同梱のベースフレーム取付説明書、レカロシート取扱説明書(シートご購入時付属品)と一緒にご覧ください。
販売店さまへ 本書は必ずお客様にお渡しください。

この度は、レカロ純正ベースフレームをお買い上げいただきありがとうございます。本製品は、レカロ株式会社が日本国内のアフターマーケット向けに販売しているレカロシートの車種別専用取付部品となります。必ず本取付説明書をお読みいただき、本書記載の注意事項や取り付け方法に従い、正しくかつ安全に使用してください。尚、レカロシートならびに本製品は、レカロ正規取扱販売店での取り付けを推奨しています。

誤った取り付け方法や使用方法での不具合などにつきましては、一切の責任および品質保証の義務を負いかねますのでご了承ください。また本製品は、実車をもとに採寸・設計しています。しかしながら車両の個体差や経年変化などにより車両フロア取り付け部分の寸法に差が生じる場合もあります。その際、本製品を加工・改造して取り付けることは大変危険ですので、絶対に行わないでください。

また、本製品に貼付されているラベルは、車検の際に必要な確認番号が記載されていますので、絶対に剥がさないでください。

作業前に準備しておくこと

必要工具などについて

- ◎基礎工具類……………スパナ、レンチ、六角レンチ、プライヤー、ペンチなど
- ◎本製品に必要な特殊工具…………トルクスレンチ: T50
- ◎配線処理部材……………結束バンド、絶縁テープなど
- ◎保護具……………作業時は、長袖や手袋などの保護具を着用してください
- ◎保護カバー……………シート脱着時に車両を傷つけないよう、毛布などでカバーしてください
- ◎RECARO Variable Connector…対象の車種は、別売のRECARO Variable Connectorを準備ください

構成部品



作業手順

注意:車両の仕様により、作業手順が異なります。

- 1** 純正シートを固定しているボルトを取り外す
シートを前後にスライドさせてフロアボルト4本を抜き取ります。
シートを車外に取り出しやすくするために、ハイトアジャスターを下げ、スライドレールは中立位置付近にしてください。

⚠ 厳守

作業にあった工具をご使用ください。
間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。
作業時は、長袖や手袋などの保護具をご使用ください。
素肌が露出した状態で作業すると、金属部分のエッジなどと接触し、けがをする恐れがあります。

- 2** 車両をスリープモードにする
※スリープモードとは、車両の全ての電源が落ちた状態をさします。
インパネ内の電源ボタンを長押しするとディスプレイが消えます。この時、ハザードランプのスイッチのみ点灯していますので、これが消灯するまで数分間(2-3分)待ちます。

⚠ 注意

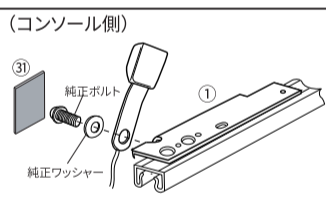
ドアの開閉等で、スリープモードが解除されてしまいます。作業が終了するまでドアの開閉等行わないでください。

- 3** 純正シートを車外に取り出す
車両と純正シートを繋ぐ黄色のカプラーを外して、シートを車外に取り出します。

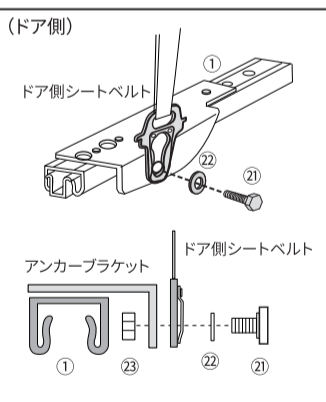
⚠ 厳守

作業時は車両を傷つけないよう保護カバーをご使用ください。
レカロシートの取り付けが完了するまで保護カバーをつけたままにしておいてください。

- 9** シートベルトバックルをベースフレーム本体に取り付ける
締め付けトルク: M8 24±2Nm



コンソール側:純正ボルトと純正ワッシャーを使用して、取り外したシートベルトバックルをベースフレーム本体①のアンカーブラケットに取り付けます。純正ボルト頭にエッジプロテクター③を適当な大きさに切り、貼り付けてください。車の整備書を参照し、適正な締め付けトルク値で締め付けてください。

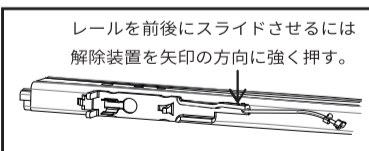


ドア側:付属部品を使用して、ベルトアンカーをベースフレーム本体①のベルトアンカーブラケットに取り付けます。ベルトアンカーのダルマ穴に六角ボルト②①と皿バネワッシャー②を通して、小さい径の穴へスライドさせ、ナット③を使用してベルトアンカーブラケットに取り付けます。

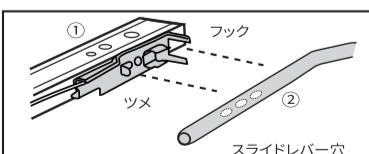
⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

- 10** ベースフレーム本体をシートに組み、スライドレバーを取り付ける
締め付けトルク: M6 9.2±1Nm/ M8 24±2Nm



※スペーサーの使用枚数は、装着シートにより異なりますのでベースフレーム取扱説明書「ベースフレームとシートの組み付け方」をご参照ください。



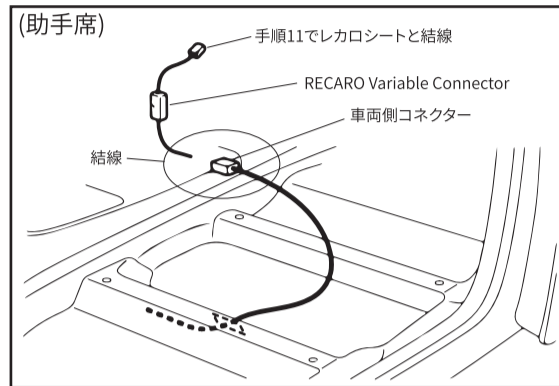
※固くてはまりにくい場合は、プラスチックハンマーなどを使用してください。

⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

- 4** シートポジションセンサーの移設
手動式シート搭載車の場合:シートポジションセンサーを移設し、手順7へ進む
電動式シート搭載車運転席の場合:別紙の手順5に進む
電動式シート搭載車助手席の場合:手順7へ進む

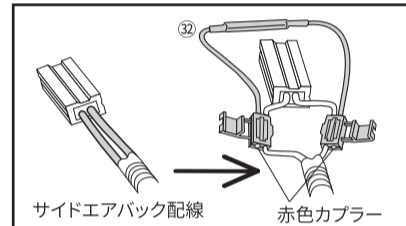
- 7** RECARO Variable Connectorを車両側コネクターの配線に結線する
※対象車種の助手席のみ作業してください。
RECARO Variable Connector取扱説明書の設定方法にて、設定を完了させ車両側コネクタに結線します。



⚠ 厳守

作業にあった正しい工具をご使用ください。
間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

- 8** サイドエアバッグ警告灯の消灯作業
車両フロア側サイドエアバッグの配線と付属のエアバッグキャンセラー③を赤色カプラーにそれぞれ挟み込むようにして短絡させ、フロア側からの信号が付属のエアバッグキャンセラー③を通るようにします。



⚠ 注意

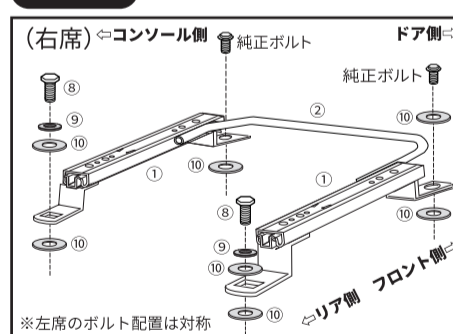
誤ってエアバッグ警告灯が点灯した場合には、自動車ディーラーでの消灯作業が必要となります。

- 11** シートを車内に入れ、シートベルトバックルの配線をつなぐ
パワーシート搭載車の場合:シートベルトバックルの配線を、集合カプラーに接続し、車両側のカプラーとつないでください。
※レールに配線が噛みこまないよう、結束バンドなどで束ね、固定してください。

⚠ 注意

配線がむき出しのエッジ部で損傷し火災や事故の原因となります。
付属のエッジプロテクターで保護してください。

- 12** シートをフロアに固定する



フロアに純正ボルトと付属の六角ボルト⑧で固定してください。

締め付けトルク
純正ボルト:車の整備書を参照し、適正な締め付けトルク値を確認し締め付けてください。
付属M10ボルト: 44±4Nm
※フロアカーペットを挟み込む場合は該当箇所のカーペットをはさみで切ってください。

⚠ 厳守

レールを前後端までスライドさせ、手順11でつないだ各種配線につっぱりや緩みがないことを確認してください。
正しく取り付けできていないと、ハーネスが断線し火災や思わぬ事故の原因となります。再調整の際も同様に確認をしてください。
記載の締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

- 13** エッジプロテクターを貼る
ベースフレームのエッジ部、フロ固定ボルトとカーペットの隙間を隠すように貼り付けてください。

⚠ 注意

むき出しのエッジ部にぶつかると思わぬ怪我につながる恐れがあります。
付属のエッジプロテクターでエッジ部を保護してください。

- 14** バッテリーのマイナス端子を接続する
イグニッションスイッチをONにし、エアバッグ警告灯が消灯し、シートベルトのリマインダーが正常に作動することを確認してください。

この作業は、シートECUが付いているシートを取り外した際、車両にエラーが生じる事象を防ぐ目的として、VC for CANの取付けを行います。VC for CANは、運転席用製品の付属品として同梱されています。

△ 厳守

作業に合った工具をご使用ください。
間違った工具や粗悪な工具を使用すると、正しく組付けが出来ず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

作業時は、長袖や手袋などの保護具をご使用ください。
素肌が露出した状態で作業をすると、金属部分のエッジ等に接触し、怪我をする恐れがあります。

右記 **5** ~ **6** は、運転席側シートに対し行う作業です。

5 シートハーネスの取り外し、VC for CAN を接続する

集合コネクタに繋がっているハーネスを全て純正シートから取り外します。シートECUもハーネスから取り外してください。

以下の【配線接続表】及び【作業図】(※)に従い、ECUに繋がっているコネクタにVC for CANを結線します。ハーネスの加工は、必要に応じて行ってください。また結線後は、絶縁処理を確実に行ってください。

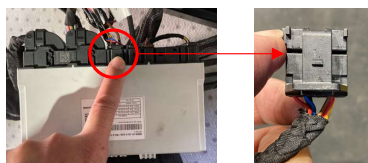
【配線接続表】

機能	車両側配線色	VC for CAN配線色
CAN HI	赤(細)	橙
CAN LOW	青(細)	黄
電源(+)	赤黄(太)	赤
アース	茶(太)	黒

* 車両側の配線に茶(細)もありますが、使用しません。



↑ VC for CAN



← VC for CANを接続する対象コネクタ

6 加工したハーネスを車両に戻す

VC for CANが結線されたハーネスを車両に戻します。RECAROシート取り付け時、ハーネスにベルトバックルを結線します。



→ 手順7へ進む

(Type 2A)

【作業図】

※ **5** の作業時、参照

